みずほCustomer Desk Report 2017/05/08 号(As of 2017/05/02)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD
					公示仲値	111.98
TKY 9:00AM	111.83	1.0909	122.04	0.9960	1.2898	0.7531
SYD-NY High	112.33	1.0933	122.60	0.9962	1.2940	0.7556
SYD-NY Low	111.79	1.0888	121.96	0.9912	1.2865	0.7511
NY 5:00 PM	111.99	1.0929	122.48	0.9915	1.2940	0.7536
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)			8.425/8.8	Δ25RR	0.955	Yen Call Over

NY DOW	20,949.89	36.43	債券市場	日本2年債	-0.1960	1.0bp
NASDAQ	6,095.37	3.76		日本10年債	0.0210	0.7bp
S&P	2,391.17	2.84		米国2年債	1.2580	▲1.6bp
日経平均	19,445.70	135.18		米国5年債	1.8027	▲3.8bp
TOPIX	1,550.30	10.53		米国10年債	2.2803	▲3.8bp
ｼｶｺﾞ日経先物	19,480.00	115.00		独10年債	0.3280	1.1bp
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	7,250.05	46.11		英10年債	1.0880	0.3bp
DAX	12,507.90	69.89		豪10年債	2.6010	2.6bp
ﾊﾝｾﾝ指数	24,696.13	81.00	為替市況	USD/CNH	6.8898	▲ 0.0080
上海総合	3,143.71	▲ 10.95		ドルインデックス	98.98	▲0.10
USDJPY 3M Vo	9.06	▲0.06%	商品市況	CRB指数	180.339	▲1.25
USDJPY 6M Vo	9.36	0.03%		NY金	1,257.000	1.50
EURJPY 3M Vo	9.87	0.08%		WTI	47.660	▲1.18
EURJPY 6M Vo	9.99	0.26%		Dubai Spot	50.6	0.41

東京

朝方に日銀議事要旨(3月15日-16日開催)が公表されるも、市場への影響は限定的となる中、東京時間のﾄﾞﾙ円は111.83ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。前日のﾑﾆｭｰｼﾝ米財務長官の超長期国債に対する前向きな発言を背景としたﾄﾞﾙ買い優勢地合いが続く中、本邦勢の実需ﾌﾛｰも相俟ってﾄﾞﾙ円は仲値にかけて112円台を試す展開。豪州金融政策決定会合では、市場予想通り政策金利が据え置きとなりﾄﾞﾙ円相場への影響は限定的。午後にかけても111円台後半で堅調に推移し、引けにかけて休日明けの欧州勢が参入すると再び112円台を試す展開からそのまま上抜け112.11円まで上伸し、結局112.07ﾚﾍﾞﾙで海外へ渡った。(東京15:30)

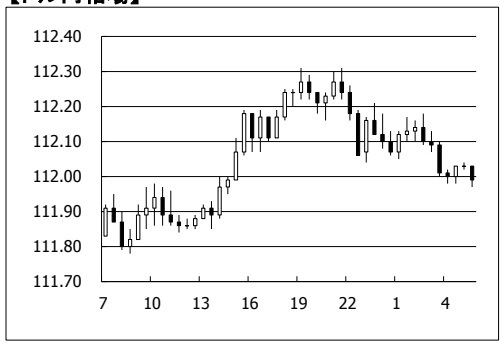
ロンドン

欧州休日明けとなったこの日のﾛﾝﾄﾞﾝ時間のﾄﾞﾙ円は上昇。112.07ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。ｱｼﾞｱ時間の流れを受けたﾄﾞﾙ買い優勢地合いの中、独4月PMI製造業改定値が58.2(予想58.2)と高水準となったことや、英4月製造業PMIが57.3(予想54.0)と約3年ぶりの高結果となったことを背景にｸﾛｽ円が上昇すると、ﾄﾞﾙ円も連れ高となり約6週間ぶりに112.31を付けた。結局112.23ﾚﾍﾞﾙでﾆｭｰﾖｰｸへ渡った。ﾎﾟﾝﾄﾞﾄﾞﾙは強含む展開。1.2870ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。前週行われたﾕﾝｹﾙ欧州委員長とﾒｲ英首相の会談で英国の欧州連合(EU)離脱交渉を巡り意見が対立したとの報道に離脱交渉の先行き不透明感が意識され1.2865へ小幅下落する場面が見られた。しかし、好調な英経済指標などを背景にﾎﾟﾝﾄﾞは買われ、高値1.2929を付けた後に1.2910ﾚﾍﾞﾙにてﾆｭｰﾖｰｸへ渡った。(00531 444 179 ﾛﾝﾄﾞﾝﾄｰﾙﾌﾘｰ 西海)

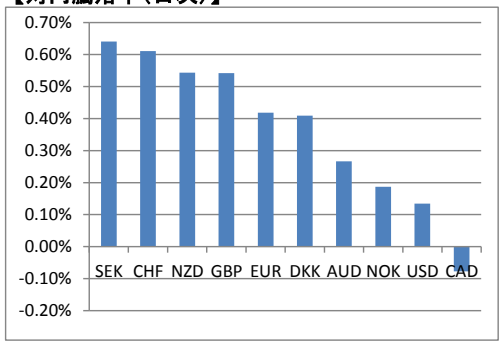
ニューヨーク

海外時間のﾄﾞﾙ円は堅調に推移し、112.23ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。序盤は米長期金利が上昇する展開にﾄﾞﾙ円もこの日の高値となる112.33まで上昇。しかしその後、自動車販売台数が冴えない結果となると米長期金利は下落に転じ、米株も寄り付きから自動車株主導で軟調推移する展開に、ﾄﾞﾙ円も112.10付近まで下落。午後に入り、ﾜｼﾝﾄﾝ関連でもｵﾊﾞﾏｹｱ改革案に対するﾈｶﾞﾃｨﾌﾞなﾍｯﾄﾞﾗｲﾝが増加する中で米長期金利は下げ止まらず、原油価格がﾘﾋﾞｱ原油の生産回復や米国の増産を受けた供給過剰懸念から約1ヵ月半ぶりに47ﾄﾞﾙ台まで急落する動きも相俟って、ﾄﾞﾙ円は111.96まで続落。その後は、米主要経済指標やFOMCなどを翌日に控えた様子見ﾑｰﾄﾞの中、112.00付近で小動きとなり、結局111.99ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞした。一方ﾕｰﾛﾄﾞﾙは1.0907ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方は米長期金利の上昇や伊航空大手が事実上の破綻処理を進めることになったことから、ﾕｰﾛﾄﾞﾙは1.0888まで下落。しかしその後は、1.08台後半で底堅さが見られたことや米長期金利が反落したことを背景にﾄﾞﾙ売りが強まったことから1.0933まで反発し、結局1.0929ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞした。

【ドル円相場】



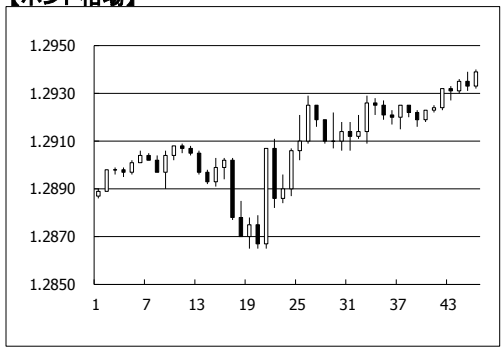
【対円騰落率(日次)】



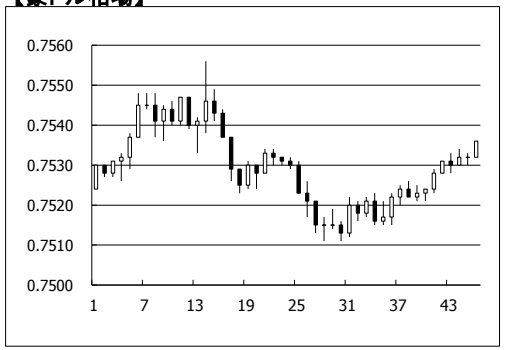
【ユーロ円相場】

【ユーロドル相場】

【ポンド相場】



【豪ドル相場】



当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:鶴田 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682